日刊（除月曜）　昭和21年6月1日第三種郵便物認可　昭和24年2月23日運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　昭和26年5月15日（火曜日）　第1527号

日刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
印刷兼発行人 登原 田
編集

針はオルガン
ミシンはツガミ
月賦現金販賣
鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

三日目の賣上 六百萬を突破
競輪人氣俄然沸騰

第四回平競輪三日目の十三日は日曜日と快晴に恵まれて入場者は三千五百二十名、各各レースとも中穴、小穴の続出で人気を呼びニレースのA級決勝一着そうに単で千四百八十円、連で四千九百五十円三レースのB級決勝一着そうに連で二千二百六十円、四レースのA級決勝一着そうに単で千二百五十円、連で二千百十円、六レースのA級一般一着そうに連で三千二百十円、七レースのA級準優勝一着そうに連で千三百四十円、八レースのB級準優勝一着そうに連で一万三千十円、十レースのA級準優勝一着そうに単で二千百三十円、連で二千七百七十円とファンの興味を盛々たかめた、総売上げは六百十万二千八百円と今までの最高を示めした各レースの勝者は次の通り
△第一田中総（神奈川）一分四十二秒 ▽第二石橋庚（茨城）二分二十秒一 ▽第三小林繁（千葉）一分四十秒六 ▽第四高岡重治（東京）一分二十一秒一 ▽第五渋谷孝保（さいたま）二分十七秒六 ▽第六田中二郎（東京）二分四十八秒一 ▽第七藤原実（群馬）三分四十九秒八 ▽第八岸本実（新潟）三分二十八秒六 ▽第九石井良一（福島）二分二十二秒九 ▽第十相馬武雄（栃木）三分五十六秒二 ▽第十一荒井多良（栃木）三分三十一秒五 ▽第十二山口一昭（群馬）二分四十九秒八

三百五十万 二日目賣上

第四回平競輪二日目は十二日に行われた、総売上げは前日よりぐんと良く三百五十二万三千四百円で入場者は千五百三十七名、七レースに連で二千八百三十円、十レースに単で二千五百六十円の穴があった

最終日競輪

平競輪最終日は稍繰り気味の十四日行われた、この日は日曜日にもかかわらずファンは詰めかけて午前中に千八十一名の入場者があった、穴は二レースの連で千十円が出た、売上げは第一レースに十三万二千九百円、二レースに二十五万四百円で計三十八万三千三百円第六までの売上げ百六十四万三千百円、入場者千八百九十七名

母の日 母に花束 よい子ら贈る

真赤なカーネエションに彩られた母の日の十三日草野婦人会では午前十時から同村中学校講堂に村内の婦人約二百五十名を集めて母の日を記念する総会を開いた、この日キレイな振袖姿で総会を訪ずれたよい子の一群は真心こめた真紅のカーネエション、白つつじの花束を母の代表に贈って居合せた母親たちを感激させた、なお午後からはナトコ映画によるレクリエーションなどあつて盛会のうちに午後三時半有意義な母の日記念行事の幕を閉じた
（写真はよい子の花束贈呈）

机や腰掛を修理 善行七少年を表彰

小名浜本町常磐小学校では十四日朝会で関口興一、鈴木孝雄、長崎大二郎、鈴木ひろ子、橋本長洋、三浦一夫、鬼沢修一君達の善行表彰式を行った右七人の少年達は四月中旬ごろから五月十日迄の間に毎日放課後の時間を利用し相談の上とりそり共同作業で使用にたえなくなっていた机五七、腰掛一八九の修理を行った善行を賞さんし表彰したもの

賃上げ交渉 八月に行う
磐炭労で打合

磐炭労代表者会議は十二日午前十時半から平市労働会館に開き、物価の変動による賃金交渉を六月ごろ開始するかどうかにつき協議したが地方選挙後の空白状態から中央でもその準備が整つてないので大体八月までに交渉体制をもつ様に決定しているので郡炭労の意向としては完全中央統一交渉で進む方針に決定した、なお労働戦線の統一問題では県下労働界の中心的組織力をもつ炭労の態度として総評の下部組織にすべてを加盟させ強力に進む方針に対しワクを拡げ総評の指向する線でゆくとの二つの主張があつたが結論は二十二日の地方委員会で出すことになつた

平競輪に初の事故
四選手落車て一騒ぎ
合圖の鐘の叩き違い

平競輪第四日第四レースで第二コーナー附近で選手が衝突し自転車をメチヤくにして四名落車小林和義選手(二)が左肋骨骨折の重傷を負いこれが為五三〇円の大穴を出した、原因は第三コーナーでたたくべきジヤン（警鐘）を相当おくれてたたいた為各選手共あわててラストスピードを出し混乱した為で明に審判の反則だとファンが騒ぎ出し払もどしを要求一時不穏な形勢にあつたが、ファンの中から代表者三名を挙げ本部に於て交渉を行つた結果『ジヤンをたたくことを忘れたが規則違反でない』と突つぱねたので物別れとなり代表は憤慨して引揚げファンにこの中を終日練りまわつた、また同町少年組の樽みこしが海中に踊り込み勢い勇ましくモミ合つて豊漁を祈願した（写真は四倉駅前の渡御）

揉み合う神輿
四倉で大漁祈願

四倉方部の大漁祈願例祭は十三日四倉町す防神社みこしを始め附近から参集したみこし四、樽みこし十、花車などがともに大漁を祈願しようと集まつた近在の善男善女五千名

町内對抗野球大會
十九、廿日に開催

△町内対抗野球大会は十九、二十日の両日平工、平商グランドに開く、資格は連青に加入の町内、申込みは十七日正午まで各地区青年会長まで、抽せんは十七日午後五時半から本社二階ホールで、平市連青からの優勝旗、磐城野球平支部提供の準優勝杯△殊勲賞発行は六月一日の予定

催主 青連市

平市連青第三回評議委員会は十二日午後一時から市役所会議室で開かれ次の事項が審議され決定した

新川町野球

平市新川町新和会主催の同町内親善野球大会は十三日第三小グランドで行われ第一試合の老壮年組紅白試合は八対四で紅組の勝ち、青少年はリーグ戦の結果中組が二勝一敗でともに優勝した

女中さん急募

年令二二、三才前後
委細面談
松葉
小名浜町 電三四四

能樂

文部省後援
五月二十七日正午
平市公會堂
観世流家元以下二十數名來演
〇小袖曾我〇羽衣〇土くも〇狂言
寝音曲〇連吟〇仕舞
◇一般券前売二五〇円当日三〇〇円高校生団体八〇円
◇前売券発売所 二丁目キクヤ 三丁目飴万年筆 四丁目マルトモ 五丁目金光堂 平和通共地堂 才槌小路魁文堂
主催 福島縣教育委員會

カツオ船坐礁

江名町大字中之作字榎戸四滝口俊夫氏所有カツオ船福盛丸（一四三トン）＝船長作山俊夫氏以下五十名乗組＝は十三日午後九時ごろ茨城県鹿島郡高松村波崎北七マイルの附近で座礁した、乗組員二名は高松村駐在所へ泳ぎつき救助を求めて連絡したので茨城県国警察本部から小名浜海上保安部に同夜電話連絡があつた、同本部では巡視船うづらを十四日午前六時半ごろ救助のため現場へ急行させたが同午前八時ごろ県水産試験場無線局へ入つた無電によると人命並船体には異常ないことが判明した

又も電話線盗難
郡山方面へ一時不通

十三日夜九時半ごろ上小川村高崎地内の電話線（平電話局管理）平＝郡山、福島方面十回線八百六十四来が盗まれた、この為平＝郡山福島方面への通話は十四日朝七時四十分まで七時間十分に亘つて不通となつた、同回線は以前にも同じ場所で四百三十米ほど盗まれたことがある

森林電話線も

十二日午後四時から翌朝にかけて平市平窪字御殿地内の平磐林業組合用の森林電話線弘百米（三千円相当）がペンチで切断盗まれた

天気予報

十四日
【今晩】北寄りの風晴後曇
【明日】北東の風強く殊による と一時小雨パラつく事あり、海上沖合は十米内外の北の風によりシケてる故漁船は注意

會議で送檢

村長選事務長

赤井村字反町三一農業草野徹四郎(大正)は同村村長選挙に当選した村長鈴木盛衛氏の出納責任者平沢均一から運動費として四千五百円を手渡され村内の林野組合員有権者を花見と称してきよお応した外同村磯崎農業鈴木代吉(五二)氏ら十二三名に対し数回にわたつて菓子や酒などできよお応した疑いで十四日平地区署から身柄送検された

國鐵連總會

国鉄平地区運合会の総会は十日正午から平市田町平鉄道クラブで開かれ旅客サービス向上の運動方針運転事故防止対策等を協議した

祝 諏訪神社例大祭！
小名濱料飲店組合
組合長 幸樂 鈴木昇七
副組合長 松葉 坂林勝三
会計 大原屋田邊與一
福島屋 鈴竹 齋司金 小名屋 天狗 うきよ 時松 三ふみ 盆川 かどや 一柳 レポ 冶 美ひょうたん 四ツ葉 丹正木 喜樂 志乃屋 小乃や

夏の家具
涼しい スダレ
本場 つり蚊張
可愛い お子様に ホロ蚊張
各種多種に入荷しました
あるが
平市線座通電223

單衿と ゆかた地
綿ゆかた地 反600円より
手〃拭 〃450円〃
〃衣具 〃530円〃
〃サラシ 〃400円〃
山吉商店
平市四丁目 電268
募急さん僧より外平

大量入荷
尾州檜原木
青森ひば
秋田板
一丸材木店
電話 工場五五六 自宅二九〇

謡曲用品 取次
○古本 参考書 舞扇 素謡扇 扇袋 見台
観世左近吹込レコード
観世会常磐支部指定
岡万年筆店
平市三丁目二九九

平城物語

史談会員　鈴木光四郎　（五）

このとき相馬将門はこの一敗をもって落胆すべきではない。奥羽は広大であるから相馬境界の要所によって決戦すれば平城の回復も日をきして待つことが出来ると一同を激励した。城中の諸士はこの説に賛成した。

平城に火を放つ

上坂総長は意を決して涙をふるって自ら三階やぐら八ツ棟やぐら米倉に火を放つて一同追手門より外濠門に出て、桜町より二藤沢を過ぎて赤井を経て赤井だけに登つて燃えつつある平城を涙のうちになめて下永井に着いたのである。これよりさき前日に平城を脱出した平藩主安藤対馬守信正は川前村を経て相馬方面にのがれたのである。平の市民は七月十三日の襲参の花を捨て、鎌田山方面にのがれた。平城から炎々と立ち登る火を見て市民は涙のうちに平城と最後の別れを惜しんだのである。

慶長七年（西暦一六〇二年）鳥居忠政が築城して以来、明治元年（西暦一八六八年）まで二百六十六年を経て平城はう有に帰してしまったのである。

むすび

以上平城を中心とした史実を物語式に説明した。外に相当の史実が残つているが紙面の都合上割愛した。平市の発展は平城と共に発展したと考えても過言ではないのかと考え、拙い平城物語を市民の皆様に発表した次第である。

（昭二六年五月三日憲法記念日）

常磐内郷鑛優勝

健保野球　市長杯を獲得

第五回健保軟式野球県大会の準決勝並に決勝戦は十三日午前九時から平市営球場に開かれ常磐内郷鉱が接戦の末日東福島を三対二で破り栄えの平市長杯並に読売旗を獲得した、戦績は次の通り

▽準決勝

常磐内郷 2 1 0 0 0 0 0 0 0 3
古河好間 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

松本―宮沢（常）鈴木、佐藤―片野（古）

日東第二 1 0 0 0 0 0 2 0 3
日東福島 0 0 0 3 0 1 0 0 0 4

今野（兄）本間、八島―大槻（日福）橋本―渡辺（日二）

▽三位決定戦

古河好間 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
日東第二 0 2 1 0 0 0 0 0 0 3

橋本―松本（日二）鈴木（兄）―菊地（古）

▽決勝戦

常磐内郷 0 1 0 0 0 0 0 0 2 A
日東福島 1 0 0 0 1 0 0 0 2 3A

仁田―宮沢（常）本間、八島―大槻（日福）

東邦軍に凱歌

福島市より遠征の東邦銀行チーム及び小名浜水薬、錦町呉羽の三チームの軟式野球試合は十三日午前九時から植田小学校グランドで開き決勝戦は東邦対呉羽が三対一で東邦軍にがい歌があがった

十五町に植林

入遠野村で決定

入遠野村では乗てより植出営林署に対し植林地として部分林（十五町歩）の貸与認可方申請中の処この程認可されたので同村では近く総出動し杉苗を植栽する、四十年後に於て伐採し其代価は官は三分民間七分の割合で契約が結ばれるのである

井上用水路

月末に完工

山田村では昨年度に於て一千四百万円の予算で井上用水路施設に着手されていたが難工事だけに予定日までにしゆん工を見るに至らなかつたがいよいよ今月末完成する、なお本年度は九十万円の予算で三カ年継続事業として上山田の農耕道路開さく工事ならびに山田村より田入に通ずるソリ橋附近の林道開さく工事は六十五万円の予算で着工する事になり近く指名入札にする

保安技術職員合格者（下）

◎甲種電気保安係員（常磐）菅野勝雄　根本唯一　舞木新平　川口康次　藤原正一　根本信雄　高橋作左衛門　坂本巳義　椎田広美　鈴木信彦　渡辺喜代治　商根孝太郎　坂本秀雄　益子利雄　鈴木正　藤薬益夫　伊東勝三　小泉首　磯崎啓一　笹川昭二　志賀俊男　工藤智義　黒田大三郎　三枝武志　加藤利夫　石井勇（好間）佐々木伊平　石井国義　先崎芳国　半沢福男　江川一　鈴木栄　橋本あきら　佐藤甫　佐藤福雄　鈴木忠治　赤間正寿（なこそ）野木勇一　佐藤勘次郎　高橋重次郎（石川）佐藤光雄（内郷町白水）河合美登利　多利（高萩）椎津藤吾（小田）　吉原三郎

◎甲種保安係員（常磐）馬目岳良　鈴木重光　武者博士　井上きよう一　上川文平　菅野直弘　幕田竹司　小林昭男　湯座千代馬　二へい英男　服部勝　鈴木貞雄　最上五郎　八重樫実　八久保一美　根本乗太郎　佐藤正夫　小野嘉一　岸波次男（好間）　武田新吉　高橋久意（なこそ）

◎乙種電気保安係員（寿）三部

◎乙種保安係員（常磐）能沢富美雄　杉山広喜　横田正二　金成福保　高木茂　越智一　海老根正春　仲井俊文　川木光雄（好間）金子正三　石井正夫（小田）伊藤良磨　阿部秀三　松原昭義（大昭）池村稔（品川黒田）清水一郎　草野英一　山田信次　田尻　大場繁寿　石井忠敬

◎溶接係員（好間）渡辺一男　須永善太郎　桑原たた七　主税　荒井安男　菊地弘

◎安全燈係員（好間）根本昇

◎汽かん係員（常磐）掃部関正　渡辺進　渡辺喜代治　吉田善道　吉田誠二　井川信男　田山誠（好間）笠原徳二郎　五島常雄　荒井安男　須永善太郎　渡辺一男

会長に越智氏

磐女PTA

磐女高PTA総会は十三日午前九時から同校に開き、昨年度の決算報告、本年度予算一百三十五万七千一百九十九円六十一銭を決定統いて次の通り役員を決定した

▽会長　越智英勇▽副会長　大日本画審査員西沢笛畝画伯に師事

永井氏再選

四小PTA

平第四小学校では十二日午後三時から二十六年度PTA総会を開き次の通り役員を次の通り選任した

会長　永井誠（再）副会長　折笠内長司（再）小野弘（新）河原嶺之助（校長）

五十嵐氏令嬢

院展に入選

これで二回目

平市大町一八五十嵐雄二医博の長女実枝子さん（磐女廿九回卒）は日本画審査員西沢笛畝画伯に師事

商友會總會

事業を決定

平商高商友会第二十九回総会は十三日平商高校に開き二十五年度決算承認、事業報告、二十六年度予算承認などあつたのち商友会報第二十五号発行と実践室増築資金については左記の通り決定した

会報は十月末日発行を目標に着手、委員を挙げて会報予約金、広告費助金、増築資金を集めるなお編纂事務所を本社内におくことになつた

東京山の地價解決

殘るは電燈の施設

植田町農業協同組合では組合所有に町と農業協同組合にも協力方を要望する事になり町でも将来の新興街を形成せしむるためには一はだを抜くものと観測されている

修學旅行の旅費しらべ

数々の夢と希望を乗せてはしる特別列車、車窓に飛び交うさつきの山河、想い出の旅修学旅行は旅行シーズンの訪ずれと共に今がまつ盛りで遠くは南の島大島巡り、湯の町伊豆箱根、近いところで鎌倉日光方面と、初夏の山河は旅客を招いているがサテ子供一人を修学旅行に出すにはどの位の費用がいるか一日光一泊三日の旅を例にとれば交通費（汽車、電車、ケーブル、自動車、モーターボート、エレベーターなど）四百五十五円、宿泊料二百九十円、雑費八十五円それに小使銭を五百円と見て合計千三百三十円それに旅行着を新調するとなると白いズックグツが三百円、クツ下が百円、旅行カバンが七百円、それに洋服を二千五百円と見込めばサツト五千円、安サラリーマンだと一寸家計がくらくらします

狂犬病豫防

十六日協議會

狂犬予防運務協議会は十六日午前十時から石城地方事務所会議室に開き、二十六年度における狂犬病予防法による実施要綱並に改正省令の説明が行われる

倉庫荒し　湯本町玉海七三無職関根某こは昨年五月上旬ころから四月二十日ころまでの間に前後十四回に亘り岡町辰の口一常磐炭鉱土建五号倉庫内から寒ちぬう製靴品水道じや口五十コ　はんだ四十本計八万円相当を盗んだ疑いで十日湯本町署に捕つた、余罪ある見込み

鐵塔泥　赤井村大字赤井字常住親町無職小むろ寛八郎（三）同村字渡農業岡田利守（三）の両名は共謀で四月下旬ころ同村字大倉地内の東北電力会社管理の不通送電線の鉄塔一基（六万円相当）を数回に亘りスパナで分解して盗んだことが判り十日平地区署から身柄送検

新採用教員に

教育講習會

十九、廿日

県教委石城出張所では教員の資質向上を計るため、本年度新採用された管内の小中学校助教諭を集めて十九、二十の両日平小作法室に現職教育講習会を開く、講師は小名浜二小校長、高木長年（教育心理）県教委石城出張所長、添田主事、鈴木ほう（教育法規）同出張所指導主事、鈴木ほう（教育原理）同、千葉正（学習指導法）

月末に役員改選

植田農協組で

植田町農業協同組合では今月末ころ全面的に役員の改選を行う事になつている、役員数は理事十八名監事五名

夜間上映時刻

サンマータイムによつて市内常設映画館の夜間上映開始は従来の午時後七から午後七時半に延びた

疑似赤痢

▽湯本町字上関一六四雑貨商吉田仁子郎（三）さん▽錦町中田字落合二四松岡てる子（三）さん▽なこそ町大日本炭鉱社宅内大手徳（三）さんら三名は疑似赤痢また錦町中田字中田原七一西条まさい（三ツ）ちやんは細菌性赤痢と十日それぞれ決定、隔離された

JOCP ラジオ JONK　ローカル（15日）郡山放送
後・三家庭と婦人『母から娘から』大越マカ大越千英子
後・三池ノ台演芸場万才『科学ダイジエスト』東称次郎東称多八
洋服は京かや

15＝18日　シンデレラ姫　ソヴィエト総天然色映画の第四陣!!　モスフイルム四九年度作品　三つのかいこう　平文化
有名なペローの昔ばなしによる美しい家庭映画の寶玉版！　レンフイルム四七年度作品

ライトインキ　ライトスタンプインキ　ライトアラビヤノリ　播磨小路　魁文堂　電三一三　文房具　書籍雑誌　度量衡
東雄軒
洋品　化粧品　電器具　ナショナル製品　文房具　ゴム靴
お買上げの方に世界館入場券進呈　夜間営業8時迄
平一　市　四丁目　ウロコヤ　デンワ401
初夏の…　紳士革サンダル　婦人革サンダル　各種豊富陳列　皆様の　平3電284　三井百貨店靴部
VII VIII IX X XI XII 1 2 3 4 5 6 7 VI V IIII III II I　精工舎の時計　平一　トキワヤ時計店　12 11 10 9 8
若い娘たち　東宝映画　新鮮の魅力に満ちた青春トリオが描く戀愛と結婚のイメージ！　監督　千葉泰樹　池部良　伊豆肇　杉葉子　島崎雪子　若山セツ子　平駅前　ひかり座
ひかり座で映画をみてのお帰りに…　ブラジル　平　並木通　ひかり座前
産婦人科　性病科　外科　久保田産婦人科医院　院長　久保田眞一　副院長　久保田眞一　小名濱町横町電二二　看護婦募集
モットー　根氣を強く　精力を盛に　若さを願う　方に　おすすめして喜んで頂く薬があります　武田薬局　薬剤師　武田三郎　平市材木町聚楽館前電話709
PURE CURRY POWDER　ピュアカレー　Squirrel BRAND　◎本高級リスカレーは一年を通じて常に御家庭の食膳に供して下さい